

## 令和4年度 第2回 学校運営協議会の報告

令和4年11月14日(月)14時50分より、令和4年度第2回学校運営協議会を開催しました。

出席者

木原俊行(会長), 神田敏生(副会長), 中川智皓(委員), 山本博資(委員), 富士原純一(委員), 山本美恵子(委員)

※中川委員はGoogle Meetにて参加

宮城(校長), 岩元(教頭), 片寄(首席), 杉田(首席)

議事に先立って授業観察を行い、生徒が主体的・能動的に取り組んでいる。集中力を感じいい雰囲気です。授業が進んでいるとの感想を頂いた。ICTの活用については、一人一台端末をもっと道具としてノート代わりに使用して欲しいとの意見もあり、今後の活用の進め方に課題を頂いた。

続いて、令和5年度使用教科書採択について審議いただき、その後校長より今年度のこれまでの教育活動および令和4年度学校経営計画の進捗状況について説明、報告をしました。

委員の方に見ていただいた資料は以下の4点です

- ①令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- ②学校教育自己診断について
- ③令和4年度使用教科書について
- ④スクールミッションについて

### <議題・協議事項>

○これまでの教育活動と学校経営計画進捗状況に対していただいた意見

- ・生徒が能動的に学べる授業づくりをしており生徒同士が話し合う環境が整っている。その一方で、少し消極的な生徒も見られた。
- ・ICTを活用しているが、表示された内容がすぐ消されることもあり、生徒の記憶に残っているのか疑問に感じた。板書が少ないように見えたのが残念であり、今後工夫して欲しい。
- ・今の子どもたちの傾向として、画面を見て覚えるのか書いて覚えるのかどちらなのか疑問に思う。

○学校教育自己診断

- ・1年生の肯定的回答が低い項目がある。これは、今年度に限ってのことなのか疑問である。
- ・昨年度の質問項目と比べているが、コロナのこともあるので、令和元年度・2年度あたりの数値と比べてもよいのではないか。
- ・1人1台端末の肯定的回答が思っていたより低い。質問は今年度からではあるが、昨年度の方が使用率高かったかもしれない。
- ・保護者の結果から、質問4（子どもは授業が分かりやすいと言っている）の肯定的回答が1年生だけ低い。

○スクールミッション

- ・どんな若者を育てたいのか見えにくい。具体的に示すことが必要だと思う。
- ・スクールミッション（ア・イ）からスクールポリシー（ウ・エ）に繋がるようなことばが欲しい。
- ・ミッションとポリシーの間の説明が欲しい。
- ・夕陽丘高校の生徒が何を獲得（得るもの）するのか具体的に示してほしい。
- ・伝統校、音楽科をアピールし、同窓生の宝となるような文章を盛り込んでもいいかもしれない。
- ・観点別評価に関連するよう、項目ごとに分けてみてもいいのかもしれない。
- ・ポリシーにあるキャリアデザインが各要素の欄に含まれていないのが気になる。

<議決事項> 令和4年度使用教科書

- ・特に大きく変化している様子はないが、学年が上がるとより深く専門的な学びができるような教材を使用してほしい。
- ・情報の授業ではプログラミングの学習が必要

### <まとめ>

授業観察や今年度の取り組みについて、委員からいただいた上記意見をもとに、今後より意識を高く持って、教育活動を展開してまいります。

最後に、次回第3回学校運営協議会<2月2日(木) 予定>の連絡と挨拶の後、閉会となりました。